

# 社会福祉協議会だより

発行 高掬地域社会福祉協議会

令和4年2月15日

\*この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

## 一人暮らしのお宅訪問

昨年(2022年)の11月28日(日)に、75歳以上の一人暮らしの方々(71名・・・前年度より12名増)へ、福祉推進員と女性会員が笹巻やくだもの、ティッシュペーパーなどをお届けする訪問事業が行われました。

社会福祉協議会と女性会との共催で毎年行われているもので、今回も楽しみに待っていてくださる方々が大勢いらっしゃいました。今年新たに訪問を受けた方は、熨斗紙のついた品に、その心配りに感激していらっしゃいました。

みなさんとてもしっかりしておられ、お元気そうで、いろいろお話してきました。娘さんが来て買い物と一緒にいたり、地域の方と交流したりするのを楽しみにしておられることなどをお聞きしました。自分のけがや病気の具合や、冬場の除雪の心配など、

日常生活の中での具体的なお話をお聞きすることもできました。

心配なことや何か困ったことがありましたら、民生児童委員や福祉推進員にぜひご相談ください。



## 福祉推進員の活動から

福祉推進員は、高齢者の方のお宅にお邪魔することがあります。その時に知ったことを紹介します。

高7町内会の岡崎時義さんは、長年にわたり南三神社の役員をなされ、館林市と天童市の交流に務められたことにより、館林市、尾曳町「尾引稻荷神社」より表彰を受けられました。福祉推進員の活動でお邪魔した時に表彰状に気づき、お話をお聞きしました。このようなお話をお聞きすることができるのも活動をやってよかったと思えることです。

岡崎さんには、これからもますますお元気でご活躍いただきたいと思います。



# 地域を守るために

## 高掬地域自主防災会連絡会の準構成員になりました。

高掬地域社会福祉協議会は令和3年度から、高掬地域自主防災会連絡会の準構成員（被災時の支援団体）になりました。被災時の支援には、より多くの女性の方の支援もいただけるようになりました。

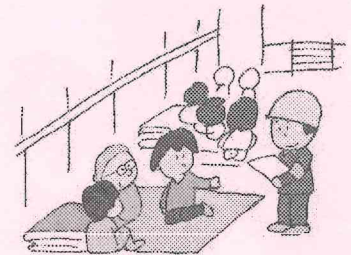
## 避難所運営の研修会を開きました。

一昨年7月の豪雨により、寺津地区の方が市立高掬公民館、農業者トレーニングセンターに避難されたことを受け、避難所運営に関する研修会を開きました。昨年9月6日に天童市危機管理室から講師を迎え、高掬地区自主防災会連絡会の構成員、高掬地域社会福祉協議会の役員が研修を受けました。

災害が広範囲に及んだときは、市立高掬小学校も避難所になるそうです。そのような事態に備え、各地区で「避難所運営委員会」の体制を整えましょうということでした。構成員は、自主防災会・自治会等の代表者、施設管理者、避難所派遣職員、運営業務実施班の代表者、避難者の代表者です。男女双方の視点、多様な方の視点での配慮が求められます。

運営委員会で話し合う内容は、以下のようなものです。

1. 運営委員会の役割決定と活動班の役割分担
2. 運営所で共同生活を送るためのルール作成
3. 避難所施設のレイアウトの作成
4. 避難所運費用資機材の確認・訓練計画の作成



危機管理室が担当する「避難所運営ゲーム（HUG）」の疑似体験を参考にしたいと思います。

## たかだまサロン「こっ茶来い」の再開に向けて

65歳以上の高齢者を対象とした地域カフェ推進事業たかだまサロン「こっ茶来い」は、コロナ禍の中、感染予防、拡大防止のため、一昨年3月から休止状態です。

まだ収束には至ってありませんが、昨年末には感染の拡大が抑えられてきたようでした。しかし、新たにオミクロン株の感染が急速に拡大しており、予断を許しません。

令和4年度からの再開を目指して準備を始めておりますが、今後の感染状況により再開が遅れることもあろうかと思っております。再開の折には、公民館だより等でお知らせします。どうぞ、お楽しみに。



<早くこんな日が来ますように>

### 編集委員

奥山 吉徳	渡邊 明	半澤 昌子	土屋 光三	岡崎 正明	佐藤 幸男
岡崎 俊雄	村山 吉春	鈴木 嘉平	後藤 孝	秋葉 正	後藤 清美
長谷川真由美	三須由美子	奥山 泰子	佐藤 勉		

# 子育てサロン「おひさま」

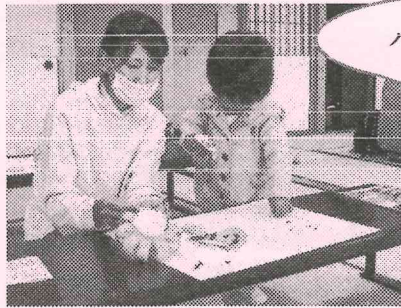


子育てサロン「おひさま」。休んだ月もありましたが、1歳未満の小さいお子さんも多く参加してくださるようになり、12月のクリスマスには、20人もの参加がありました。その様子を写真で紹介します。

七夕



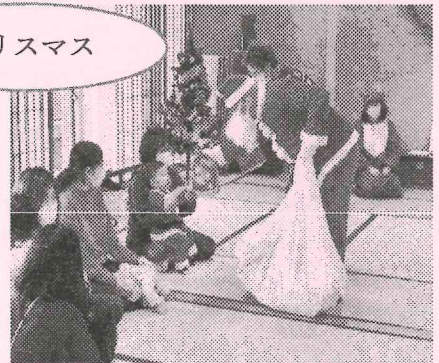
ハロウィン



親子体操と  
ベビーマッサージ



クリスマス



## ご存じですか

旅行や入院などで長期不在になるとき、こんなサービスがあります。

### 「郵便物の不在届」・・・不在が終了してから届けてもらう制度

配達を行う郵便局、もしくはご自宅の最寄りの郵便局へ「本人を確認できる資料（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード）」を持参し申し込めます。最長30日まで可能です。

### 「新聞の一時停止」

新聞販売店（配達担当所）へ前日の午前中まで連絡を入れれば、翌日から希望日まで配達を止めてくれます。休んだ分の対応は、新聞社によって異なるため、連絡時に確認しましょう。

このようなサービスを上手に利用して『留守をアピールせずに防犯につなげましょう。』

そして、ご近所に郵便受けがあふれている世帯を見かけたら、隣組長、福祉推進員、民生児童委員へお知らせください。

ご近所の気づきが不慮の事態を回避する行動となります。ご協力よろしくお願いします。

# 歳末たすけあい募金

## ご協力ありがとうございました！

「歳末たすけあい募金」は、地域住民やボランティア、社会福祉協議会の関係機関・団体のご理解やご協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らせるようにと配分するものです。

各地域で集まった募金は、それぞれの地域で全額を配分するため、各地域の配分委員会において配分計画を作成します。

配分金は、民生児童委員の協力を得て「歳末激励金」として、支援の必要な方々に配付しました。

### ◎高揃地域の実績は次の通りです。

募 金 実 績	1,411世帯	422,400円
配分対象件数	38件	

受け取られた方々からは、大変喜んでいただきました。ご協力くださった皆様に心よりお礼を申し上げます。

## 清池いきいきサロン紹介

高揃地域では、「芳賀陽だまりの会」「高揃ワンツウ」「にれの木」「楯之内」「高揃北部」「金谷」「清池」の7つのいきいきサロンが開催されています。このコロナ禍で開催が難しくなっていますが、工夫して活動しているサロンを紹介します。

清池いきいきサロンは、平成17年に発足して以来、今年で18年目を迎えました。町内会と天童市及び高揃地域の社会福祉協議会からの助成金により運営しています。サロンの活動計画は、民生児童委員、福祉推進員もメンバーである役員会で決定し、具体的な行事の広報、連絡等は、町内会隣組の回覧ネットワークのお世話になっています。

会員登録などではなく、清池の高齢者であれば誰でも好きな時に参加したり休んだりできます。各行事に出入り自由です。いわば、清池地区高齢者全体の共通の遊び場、気軽な出会いの場という感じです。

例年であれば、春夏の温泉旅行などのほか、公民館での忘年クリスマス会をにぎやかに行うのですが、昨年度と今年度はコロナ禍のため、各自がそれぞれ自宅で、リモート忘年クリスマス会を開催していただきました。

2回目の今年度は、洋風菓子袋に思い出の旅行写真などを載せたパンフレットを同封して、過去のいきいきサロン行事参加者及び高齢のお一人暮らしの方に「在宅忘年クリスマスプレゼント」としてお贈りしました。52名の方に各役員が手分けしてお届けしました。喜んでいただけたのではないかと思います。（清池いきいきサロン会長 山本正広）

